

基本方針、主な取組み及び予算要求の状況

●平成26年度の基本方針

水需要と料金収入の落ち込みが続く一方で、電気料の引き上げや会計制度の見直しによる新たな経費の追加など厳しい経営環境にあります。しかし、「安全な水の安定供給」というライフラインとしての責務を果たすため、あらゆる経営手段を講じて対処してまいります。

- 1 総合計画に合わせて策定した施設整備計画を着実に進めます。
- 2 水使用量が減少していることに鑑み、地方公営企業として、水道の安全性や水道事業の重要性について情報発信を充実するとともに、より質の高いサービスの提供に努めます。
- 3 「安全な水の安定供給」の確保を前提とした上で、支出を最小限にとどめられるよう、引き続き工夫改善に取り組み、「無理せず無駄を無くす」事業運営に努めます。
- 4 水道事業の健全経営に向けて、保有資産の有効活用に取り組みます。

●平成26年度の主な取組み

- 1 施設整備計画に基づき、水道管の耐震化を着実に推進します。特に、整備の優先順位を踏まえ、基幹管路のほか重要給水施設への配水管の耐震化及び適正な更新に取り組みます。
- 2 水道料金の未収金低減を図るとともに、利用者へのより質の高いサービスの提供に努めます。
- 3 安全性を最優先に確保した上で、引き続き経費削減と保有資産の有効活用などの経営努力策に取り組み、健全経営に向けて努力します。
- 4 水道啓発事業としてインターネット水道モニター事業や出前講座など、水道事業の運営、課題等に対する意識の共有化を図る取り組みを継続して実施します。
- 5 市制施行60年・水道創設125年に当たり、公募により「おいしい秦野の水」のラベルを作成し、本市のPRと災害時の備蓄を促進します。

●平成26年度予算要求の状況

課等名	26年度予算					25年度予算				備考
	要求額	うち骨格予算	対前年度予算		一般財源額	対前年度予算		当初予算額	一般財源額	
			増減額	増減率		増減額	増減率			
3条予算	2,762,015	2,762,015	304,372	12.4%	2,703,921	292,046	12.1%	2,457,643	2,411,875	
水道業務課	1,654,520	1,654,520	229,623	16.1%	1,615,846	228,167	16.4%	1,424,897	1,387,679	
水道施設課	1,107,495	1,107,495	74,749	7.2%	1,088,075	63,879	6.2%	1,032,746	1,024,196	
4条予算	1,480,391	1,480,391	110,997	8.1%	1,073,714	143,858	15.5%	1,369,394	929,856	
水道業務課	533,443	533,443	△ 9,949	△ 1.8%	533,052	△ 9,962	△ 1.8%	543,392	543,014	
水道施設課	946,948	946,948	120,946	14.6%	540,662	153,820	39.8%	826,002	386,842	
部等の計	4,242,406	4,242,406	415,369	10.9%	① 3,777,635	435,904	13.0%	3,827,037	② 3,341,731	

主な「歳入確保」及び「歳出削減」、行政評価への取組み

●歳入確保への取組み 単位:千円		●歳出削減への取組み 単位:千円	
取組内容	効果額	取組内容	効果額
[経営努力]鈴張町配水場跡地売却	87,000	[経営努力]量水器取替費の削減	▲ 4,488
[経営努力]広告収入	240	[経営努力]漏水対策費の削減	▲ 3,250
[経営努力](駐車場収入)	180	[経営努力]防災対策費の削減	▲ 975
		[経営努力]庁舎維持管理費の削減	▲ 113
		[経営努力]県水受水費の削減	▲ 566
		[財政計画]電算事務負担金の削減	▲ 19,732
計	87,420	計	▲ 29,124
効果額(計)		前年度より 116,544千円 削減	

●行政評価結果への対応状況

No.	担当課等	事業名	行政評価結果	予算や取組みへの反映状況
1				
2				
3				
4				
5				

●平成26年度水道局の主な事業の概要

No.	区分	行政評価結果	事業名等	担当課 (関連部課)	新年度要求額					事業概要
					うち骨格予算分	国庫・県費	地方債	その他特財	一般財源	
1	重要	—	導水管送水管耐震化事業費	水道施設課	3,310,000	161,270		120,000	41,270	《水道施設整備計画》 計画で優先順位の高い導水管である基幹管路を中心に、輻輳する配水管を含めて水道管の耐震化を進める。 導水管0.870km、導水管と同一箇所配水管0.970km φ75～200mm L=1.840kmの耐震化事業
					うち骨格予算分					
2	重要	—	配水管改良事業費	水道業務課 水道施設課	1,400,000	310,335		220,000	90,335	《水道施設整備計画》 災害時に備えて、重要給水施設への配水管を中心として、老朽している水道管の布設替えとともに耐震化を進める。 配水管(南・大根・西・上・鶴巻地区) φ100～500mm L=2.300kmの耐震化事業
					うち骨格予算分					
3	重要	—	配水管拡張事業費	水道施設課	750,000	56,100		40,000	16,100	《水道施設整備計画》 公共下水道事業等の他事業の工事に合わせて、配水管の未整備箇所における新規整備により耐震化を進める。 配水管(本町・東・西地区) φ75～150mm L=0.500kmの耐震化事業
					うち骨格予算分					
4	重要	—	幹線管路耐震化事業費	水道施設課	2,388,470	36,900			36,900	《水道施設整備計画》 1 幹線管路として位置づけた県水送水ルートの送水管耐震化事業として、詳細設計を実施する。 2 県水送水ルートの中継ポンプ場の基本設計等委託事業を実施する。
					うち骨格予算分					
5	重要	—	施設耐震化事業費	水道施設課	186,100	51,800		10,000	41,800	《水道施設整備計画》 1 浄水場及び配水池について、新耐震基準による耐震診断のほか、調査委託事業を実施する。 堀山下浄水場及び寺山配水池ほか 2 診断結果に基づく耐震補強工事を実施する。 堀山下低区配水池外1箇所
					うち骨格予算分					
6	重要	—	施設整備事業費	水道業務課 水道施設課	449,740	84,123		10,000	74,123	《水道施設整備計画》 1 水源開発などの施設整備を進める。 本町第9取水場外2箇所のボーリング調査 神明開戸取水場外1箇所の実施設計等委託 2 東日本大震災を教訓として、必要な非常用飲料水貯水槽に緊急遮断弁の設置を行う。
					うち骨格予算分					
7	重要	—	緊急時対策施設整備事業費	水道施設課	2,155,000	164,640			164,640	《水道施設整備計画》 緊急時対策としての施設整備を進める。 (1) 六間配水場外30施設中央監視システム構築等及び幹線系施設高圧盤更新基本設計の委託 (2) 広畑配水場遠方監視装置更新工事及び戸川取水場外1箇所改修等工事
					うち骨格予算分					
8	継続	—	水道料金等業務包括委託事業費	水道業務課	750,000	119,754			119,754	《水道事業計画》 水道事業計画に基づき、水道料金・下水道使用料の賦課・徴収業務の包括民間委託によるサービス向上及び未収金解消を進める。
					うち骨格予算分					